

決算短信補足資料

(2014年3月期 第3四半期決算)

2014年1月30日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2013年3月期 3Q累計実績 A	2014年3月期 3Q累計実績 B	対前年		2013年3月期 通期実績 C	2014年3月期通期		対前年		対予想 増減 E-D
			増減 B-A	比率(%) B/A		前回(10/29) 予想 D	今回(1/30) 予想 E	増減 E-C	比率(%) E/C	
【連結】										
営業収益	9,710	9,859	+149	101.5	12,989	13,105	13,160	+170	101.3	+55
営業利益	1,157	1,208	+51	104.4	1,294	1,250	1,300	+5	100.4	+50
経常利益	949	1,018	+69	107.3	1,046	1,015	1,070	+23	102.2	+55
四半期(当期)純利益	583	607	+24	104.2	601	575	605	+3	100.5	+30
【単体】										
営業収益	6,584	6,581	▲ 3	99.9	8,685	8,665	8,695	+9	100.1	+30
運輸収入	5,830	5,897	+67	101.2	7,691	7,750	7,780	+88	101.2	+30
営業費用	5,609	5,603	▲ 5	99.9	7,661	7,725	7,705	+43	100.6	▲ 20
人件費	1,747	1,756	+8	100.5	2,333	2,350	2,350	+16	100.7	-
物件費	2,427	2,457	+29	101.2	3,427	3,515	3,495	+67	102.0	▲ 20
動力費	279	322	+42	115.2	371	440	430	+58	115.8	▲ 10
修繕費	914	927	+12	101.4	1,365	1,405	1,395	+29	102.2	▲ 10
業務費	1,233	1,208	▲ 25	98.0	1,691	1,670	1,670	▲ 21	98.8	-
減価償却費	996	953	▲ 43	95.6	1,347	1,310	1,310	▲ 37	97.2	-
営業利益	975	977	+2	100.2	1,023	940	990	▲ 33	96.7	+50
経常利益	763	788	+24	103.2	775	710	760	▲ 15	98.0	+50
四半期(当期)純利益	429	481	+52	112.2	419	435	460	+40	109.7	+25

2.単体損益計算書

(単位:億円)

	2013年3月期 3Q累計実績 A	2014年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	6,584	6,581	▲ 3	99.9
運輸収入	5,830	5,897	+67	101.2
その他収入	753	683	▲ 70	90.6
営業費用	5,609	5,603	▲ 5	99.9
人件費	1,747	1,756	+8	100.5
物件費	2,427	2,457	+29	101.2
動力費	279	322	+42	115.2
修繕費	914	927	+12	101.4
業務費	1,233	1,208	▲ 25	98.0
線路使用料等	177	177	+0	100.0
租税公課	259	258	▲ 1	99.6
減価償却費	996	953	▲ 43	95.6
営業利益	975	977	+2	100.2
営業外損益	▲ 211	▲ 188	+22	89.4
営業外収益	22	23	+1	-
営業外費用	233	212	▲ 20	-
経常利益	763	788	+24	103.2
特別損益	23	▲ 7	▲ 30	-
特別利益	278	53	▲ 224	-
特別損失	254	60	▲ 194	-
四半期純利益	429	481	+52	112.2

3.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入*

(単位:億円)

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	3Q累計実績(4/1~12/31)			3Q実績(10/1~12/31)		
	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年
全社計	5,830	5,897	+67 101.2%	1,980	2,011	+30 101.6%
新幹線	2,724	2,769	+45 101.7%	936	957	+21 102.3%
定期	68	69	+0 101.2%	22	23	+0 100.7%
定期外	2,655	2,699	+44 101.7%	913	934	+21 102.4%
在来線	3,106	3,128	+22 100.7%	1,044	1,053	+9 100.9%
定期	1,067	1,072	+4 100.4%	353	355	+1 100.5%
定期外	2,039	2,056	+17 100.9%	691	698	+7 101.1%
近畿圏	2,179	2,198	+19 100.9%	731	737	+6 100.9%
定期	861	865	+4 100.5%	285	287	+1 100.6%
定期外	1,317	1,332	+14 101.1%	445	450	+5 101.2%
その他	927	930	+2 100.3%	313	315	+2 100.7%
定期	206	206	+0 100.2%	68	68	+0 100.3%
定期外	721	723	+2 100.4%	245	247	+2 100.8%

	3Q累計実績(4/1~12/31)			3Q実績(10/1~12/31)		
	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年
全社計	41,783	42,160	+376 100.9%	14,042	14,219	+176 101.3%
新幹線	13,151	13,411	+260 102.0%	4,555	4,689	+133 102.9%
定期	558	561	+3 100.6%	181	180	▲0 99.6%
定期外	12,592	12,849	+256 102.0%	4,373	4,508	+134 103.1%
在来線	28,632	28,749	+116 100.4%	9,487	9,529	+42 100.4%
定期	17,451	17,431	▲20 99.9%	5,687	5,670	▲16 99.7%
定期外	11,181	11,317	+136 101.2%	3,799	3,858	+59 101.6%
近畿圏	21,682	21,779	+97 100.4%	7,182	7,213	+30 100.4%
定期	14,090	14,080	▲10 99.9%	4,604	4,593	▲11 99.7%
定期外	7,591	7,698	+107 101.4%	2,578	2,620	+42 101.6%
その他	6,950	6,969	+19 100.3%	2,304	2,316	+11 100.5%
定期	3,361	3,350	▲10 99.7%	1,083	1,077	▲5 99.5%
定期外	3,589	3,619	+29 100.8%	1,221	1,238	+16 101.4%

* 運輸収入の内訳については一定の前提により配分しておりますが、より実態に即すため、在来線定期外収入(近畿圏とその他)の配分方法を見直しております。口
上表に記載の数値は、昨年度実績を含め全て新たな配分方法で算出したものです。新たな配分方法で算出した四半期毎の過去の実績を、巻末に参考資料として添付しております。

4.連結損益計算書

(単位:億円)

	2013年3月期 3Q累計実績 A	2014年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	9,710	9,859	+149	101.5
営業費用	8,552	8,650	+98	101.1
営業利益	1,157	1,208	+51	104.4
営業外損益	▲ 207	▲ 189	+18	91.3
営業外収益	28	29	+0	-
営業外費用	236	219	▲ 17	-
経常利益	949	1,018	+69	107.3
特別損益	▲ 11	▲ 20	▲ 8	-
特別利益	288	58	▲ 230	-
特別損失	300	78	▲ 221	-
四半期純利益	583	607	+24	104.2
四半期包括利益	506	626	+119	123.7

5.セグメント情報

(単位:億円)

	2013年3月期 3Q累計実績 A	2014年3月期 3Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益*1	9,710	9,859	+149	101.5
運輸業	6,407	6,413	+6	100.1
流通業	1,764	1,794	+29	101.7
物販・飲食	1,015	1,026	+10	101.1
百貨店	699	690	▲ 9	98.7
不動産業	656	706	+50	107.6
ショッピングセンター	415	413	▲ 2	99.4
不動産賃貸・販売*3	229	281	+51	122.6
【分譲事業】	【24】	【72】		
その他	881	944	+63	107.2
ホテル	249	252	+2	101.1
旅行	276	296	+19	107.1
営業利益*2	1,157	1,208	+51	104.4
運輸業	881	898	+16	101.9
流通業	▲ 4	38	+42	-
物販・飲食	30	38	+8	127.0
百貨店	▲ 37	▲ 2	+34	-
不動産業	210	201	▲ 8	95.8
ショッピングセンター	70	66	▲ 4	93.9
不動産賃貸・販売	55	66	+10	119.1
その他	59	60	+1	102.2
ホテル	19	19	▲ 0	99.4
旅行	▲ 1	▲ 1	▲ 0	-

*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

6.単体業績予想

(単位: 億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(10/29) 予想 B	今回(1/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,685	8,665	8,695	+9	100.1	+30
運輸収入	7,691	7,750	7,780	+88	101.2	+30
その他収入	993	915	915	▲ 78	92.1	—
営業費用	7,661	7,725	7,705	+43	100.6	▲ 20
人件費	2,333	2,350	2,350	+16	100.7	—
物件費	3,427	3,515	3,495	+67	102.0	▲ 20
動力費	371	440	430	+58	115.8	▲ 10
修繕費	1,365	1,405	1,395	+29	102.2	▲ 10
業務費	1,691	1,670	1,670	▲ 21	98.8	—
線路使用料等	234	235	235	+0	100.0	—
租税公課	317	315	315	▲ 2	99.2	—
減価償却費	1,347	1,310	1,310	▲ 37	97.2	—
営業利益	1,023	940	990	▲ 33	96.7	+50
営業外損益	▲ 247	▲ 230	▲ 230	+17	92.9	—
営業外収益	64	62	62	▲ 2	—	—
営業外費用	311	292	292	▲ 19	—	—
経常利益	775	710	760	▲ 15	98.0	+50
特別損益	1	—	▲ 10	▲ 11	—	▲ 10
特別利益	399	—	—	—	—	—
特別損失	397	—	—	—	—	—
当期純利益	419	435	460	+40	109.7	+25

7.運輸収入の見通し

(単位:億円)

		2013年3月期 通期実績	2014年3月期通期		対前年		対予想 増減	
			前回(10/29) 予想	今回(1/30) 予想	増減	比率(%)		
		A	B	C	C-A	C/A	C-B	
新幹線		3,570	3,627	3,630	+59	101.7	+2	
在 来 線	近畿圏*	新配分方法	2,889	2,889	2,915	+25	100.9	+26
		【旧配分方法】	【2,914】	【2,923】				
	その他*	新配分方法	1,230	1,233	1,234	+3	100.3	+1
		【旧配分方法】	【1,206】	【1,198】				
在来線計		4,120	4,122	4,149	+28	100.7	+27	
運輸収入計		7,691	7,750	7,780	+88	101.2	+30	

※荷物収入は金額些少のため省略

* 在来線運輸収入については、近畿圏とその他に配分する方法を見直しております。【 】内は旧配分方法に基づいた数値です。

また、「2014年3月期通期」の「前回(10/29)予想」の「近畿圏」と「その他」の新配分方法に基づいた数値は、

一定の前提に基づき算出した参考値です。

8.連結業績予想

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(10/29) 予想 B	今回(1/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	12,989	13,105	13,160	+170	101.3	+55
営業費用	11,694	11,855	11,860	+165	101.4	+5
営業利益	1,294	1,250	1,300	+5	100.4	+50
営業外損益	▲ 248	▲ 235	▲ 230	+18	92.6	+5
営業外収益	68	67	72	+3	-	+5
営業外費用	316	302	302	▲ 14	-	-
経常利益	1,046	1,015	1,070	+23	102.2	+55
特別損益	▲ 49	▲ 30	▲ 40	+9	-	▲ 10
特別利益	415	-	-	-	-	-
特別損失	465	-	-	-	-	-
当期純利益	601	575	605	+3	100.5	+30
包括利益	550	-	-	-	-	-

9.連結業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(10/29) 予想 B	今回(1/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益*1	12,989	13,105	13,160	+170	101.3	+55
運輸業	8,449	8,440	8,470	+20	100.2	+30
流通業	2,346	2,364	2,364	+17	100.7	-
物販・飲食	1,344	1,316	1,336	▲ 8	99.4	+20
百貨店	935	960	940	+4	100.5	▲ 20
不動産業	909	1,038	1,038	+128	114.2	-
ショッピングセンター	550	527	527	▲ 23	95.7	-
不動産賃貸・販売*3	342	494	494	+151	144.0	-
【分譲事業】	【69】	【218】	【218】			
その他	1,284	1,263	1,288	+3	100.3	+25
ホテル	330	331	331	+0	100.2	-
旅行	388	385	410	+21	105.4	+25
営業利益*2	1,294	1,250	1,300	+5	100.4	+50
運輸業	901	827	877	▲ 24	97.3	+50
流通業	▲ 4	31	31	+35	-	-
物販・飲食	33	-	-	-	-	-
百貨店	▲ 40	-	-	-	-	-
不動産業	280	277	277	▲ 3	98.9	-
ショッピングセンター	87	-	-	-	-	-
不動産賃貸・販売	81	-	-	-	-	-
その他	123	119	119	▲ 4	96.3	-
ホテル	23	-	-	-	-	-
旅行	7	-	-	-	-	-

*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

10.連結財政状況

(単位:億円)

	2013年3月期 期末 A	2014年3月期 3Q期末 B	増減 B-A
資産	26,137	26,104	▲33
負債	18,455	18,010	▲445
純資産	7,681	8,093	+412
長期債務残高	9,830	9,955	+124
【長期債務平均金利(%)】	【2.84】	【2.74】	【▲0.10】
新幹線債務	2,442	2,282	▲159
【新幹線債務平均金利(%)】	【5.69】	【5.74】	【+0.05】
社債	4,499	4,599	+100
【社債平均金利(%)】	【2.11】	【2.08】	【▲0.03】
自己資本比率	28.5	30.1	+1.6
1株当たり純資産(円)	3,850.82	4,061.14	+210.32

11. 諸元表

(単位: 人、億円)

	2013年3月期 3Q累計実績	2014年3月期 3Q累計実績	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想(1/30)
連結ROA (%)	4.4	4.6	4.9	4.9
連結ROE (%)	8.1	7.9	8.3	7.9
連結EBITDA*	2,349	2,344	2,903	2,860
連結減価償却費	1,191	1,135	1,608	1,560
連結設備投資(自己資金)	831	823	1,529	1,920
単体設備投資(自己資金)	643	694	1,248	1,650
安全関連投資	333	427	727	890
1株当たり配当金(円)	55	55	110	110

	2013年3月期 3Q累計実績		2014年3月期 3Q累計実績		2013年3月期 通期実績		2014年3月期 通期予想(1/30)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	45,569	26,943	46,105	27,373	45,326	26,889	-	-
金融収支	▲ 227	▲ 218	▲ 207	▲ 197	▲ 300	▲ 289	▲ 281	▲ 269
受取利息・配当金	3	11	4	12	3	13	4	14
支払利息	231	229	211	210	304	303	285	283

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

【参考】運輸収入の実績(2014年3月期 上期実績)

○新配分方法

(単位:億円)

		2014年3月期			対前年		
		1Q実績	2Q実績	上期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績
在 来 線	近畿圏	723	736	1,460	+1 100.3%	+10 101.4%	+12 100.8%
	定期	291	287	578	+0 100.2%	+1 100.7%	+2 100.4%
	定期外	432	449	881	+1 100.3%	+8 101.9%	+9 101.1%
	その他	290	323	614	▲0 99.9%	+0 100.3%	+0 100.1%
	定期	69	68	138	▲0 99.9%	+0 100.3%	+0 100.1%
	定期外	221	255	476	▲0 99.9%	+0 100.3%	+0 100.1%

○旧配分方法

(単位:億円)

		2014年3月期			対前年		
		1Q実績	2Q実績	上期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績
在 来 線	近畿圏	730	744	1,475	+3 100.5%	+12 101.8%	+16 101.1%
	定期	291	287	578	+0 100.2%	+1 100.7%	+2 100.4%
	定期外	439	457	897	+3 100.8%	+10 102.4%	+14 101.6%
	その他	283	315	599	▲2 99.2%	▲1 99.5%	▲3 99.4%
	定期	69	68	138	▲0 99.9%	+0 100.3%	+0 100.1%
	定期外	214	246	460	▲2 99.0%	▲1 99.3%	▲4 99.1%

※在来線収入の合計額および定期収入に変更はございません。

※2014年3月期3Q実績、3Q累計実績については3ページ参照。2014年3月期通期予想については7ページ参照。

【参考】運輸収入の実績(2013年3月期 通期実績)

○新配分方法

(単位:億円)

		2013年3月期						
		1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績
在 来 線	近畿圏	722	725	1,447	731	710	1,442	2,889
	定期	290	285	575	285	271	557	1,132
	定期外	431	440	872	445	439	884	1,757
	その他	291	322	614	313	303	616	1,230
	定期	69	68	138	68	63	131	269
	定期外	221	254	475	245	240	485	961

○旧配分方法

(単位:億円)

		2013年3月期						
		1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績
在 来 線	近畿圏	727	731	1,458	737	717	1,455	2,914
	定期	290	285	575	285	271	557	1,132
	定期外	436	446	883	452	445	897	1,781
	その他	286	316	603	307	296	603	1,206
	定期	69	68	138	68	63	131	269
	定期外	216	248	464	238	233	472	937

※在来線収入の合計額および定期収入に変更はございません。

将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2014年1月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2014年1月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>